

第1回与謝野町総合計画審議会 会議報告書

日時 令和6年4月17日(水) 午後6時00分～午後8時15分

場所 加悦保健センター元気館2階 農事研修室

出席(敬称略)

谷口 知弘	辻村 謙一	木村 順一	安達 幸三
井上 尋彰	植田友香理	樋口 潔	橋本 利将
細井 昭男	木村 憲二	長谷川 達	高岡 知子
市川 孝雄	堀口 満朗		

欠席(敬称略)

米華 千晴	関野 宅矢	長島 由昇	太田 豊
濱田 祐太	中田麻由美	奥野 洋平	小山富美代
(区長連絡協議会)			

事務局

企画財政課 山口課長	同 大江主幹	同 松本主任	同 田村
------------	--------	--------	------

傍聴者 なし

「会議の要点」

- 副会長職を区長連絡協議会選出委員のあて職とする確認
- 令和6年度当初予算に係る主要事業の説明と意見交換
- よさのみらい会議プロジェクト(案)の共有

会議要旨 以下のとおり

開会

- 大江主幹の進行により会議を開会。

1. 開会(町長挨拶)

(山添町長) こんばんは。本日は、令和6年度第1回となります与謝野町総合計画審議会の開催をお願いいたしましたところ、谷口先生をはじめ、委員の皆様方にはお忙しい中、そしてお出にくい時間帯にもかかわらず、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

委員の皆様方におきましては、日頃から、それぞれの役職、あるいは立場を通じ、与謝野町の行政推進に多大なるご協力をいただいております、誠にありがとうございます。

また、本日の委員会からご参画をいただく橋本委員、そして本日はご欠席ですが、奥野委

員におかれましても、それぞれのお立場の中から、忌憚のないご意見をいただきながら、ともにこの与謝野町の総合計画のあり方について、議論を深めていくことができればと思っておりますので、格段のご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、総合計画審議会の皆様方におかれましては、与謝野町の行政政策の最上位に位置付けている計画である総合計画の立案及び進捗の管理などについてご尽力をいただいております、誠にありがとうございます。

ご案内のとおり、与謝野町におきましては条例を設置させていただきながら、総合計画に基づく行政運営を行っていきたいということで、この間、総合計画のあり方についても、そして総合計画の立案の方法についても熟慮しながら取り組みを進めてきたということでありました。

現在の第2次与謝野町総合計画後期基本計画におきましては、本年度2年目を迎えているということでございますので、皆様方と共に進捗管理をしながら、それぞれの事業が総合計画との整合性、あるいは関連性を持って進んでいるのかという点について、大所高所からのご意見をいただくことができればと思っております。そして、本日の総合計画審議会におきましては、次第に記載をされていますように、総合計画に基づく予算編成ということで取り組んでまいりました令和6年度の当初予算の考え方、そして具体的な事業についても、各課からも紹介をさせていただきながら、総合計画、そして毎年度の予算編成が整合しているのかどうか、しっかりと関連付けられているのかどうか。一つひとつの事業が精査をされた上で、改善に向けての努力がなされているのかどうかといったような視点を含めて、皆様方にご意見をいただきながら、今年度の事業がより良い形で進行できるように取り組んでまいりたいと考えております。

さて、令和6年度の当初予算につきましては、与謝野町としては、住民の皆様方に寄り添い、人・環境・未来に優しいまちづくりを推進していきたいという思いから、編成をさせていただいたというものであります。

令和5年度におきましては、感染症の位置づけが2類から5類に変化をしたことに伴い、住民の皆様方の社会的な、そして経済的な活動も活発なものになってきたと考えております。

一方で、3年を超える影響を受けて、地域社会につきましても、様々な変化が現れていると思っております。そのような変化の過渡期にある現時点において、より一層住民の皆様方に寄り添い、住民の皆様方の生活の基盤として求められる行政であり続けていくためには、寄り添うという姿勢が非常に重要であり、その結果、人や環境や未来に対し、優しいまちづくりを推進していくことができるのではないか。それを目指していきたいという思いを持ち、令和6年度を迎えているということでもあります。

皆様方におかれましても、このような思いをくみ取っていただきながら、これからの事業についても、そして議論の中身におきましても、積極果敢にご意見をいただきながら、ともに与謝野町の令和6年度を前進させていただけるために、ご尽力いただきたいと思いますと考えております。

それでは、本日の総合計画審議会の、活発な意見が出されることを期待申し上げ、冒頭にあたったのご挨拶にかえさせていただきたいと思っております。それでは本日もどうぞよろしくお願いいたします。

2. 副会長互選

- 役職退任に伴い空席となった副会長職について、今後は区長連絡協議会選出の委員を副会長とする旨を事務局から提案。
- 事務局提案に「異議なし」の声があり、区長連絡協議会選出の副会長が決定次第、委員にお知らせする旨報告。

3. 議事

(1) 令和6年度当初予算の概要について

- 議長を谷口会長に交代。
- 資料1について、総合計画の7つの分野を3つのグループに分けて事務局から説明を行った後、事業推進にあたっての意見・質疑応答を実施。

グループ1「分野1 産業・仕事、 分野2 観光・交流・移住定住」

<意見・質疑応答>

- ・ 観光協会では体験を含めた観光にターゲットを絞って誘客している。体験をセットにした商品造成を行う中で、ちりめん街道もあるが、地域が一本化されていない。地域住民の関わりが少ないと感じている。
- ・ 昨年、一昨年と猛暑で米の出来が悪かったと聞いている。年々、暑くなってコシヒカリが作りにくい環境なるだろうと言われている。東北や北陸では、コシヒカリに替わる暑さに強い品種に切り替えていると聞く。与謝野町も先のことを考えて暑さに強い米づくりについて検討したほうがよいのではないかと。
⇒気候の変化で丹後のコシヒカリは10年近く特Aが取れなくなっている。京都府・JAは危機感を持っており、高温耐性のある京式部の普及を目指しているが、売るお米としては、まだコシヒカリの需要が高い。今後、農家から声が上がれば、豆っこ米の中に、京式部を組み入れていくことも考えていきたい。
- ・ リフレかやの里管理運営事業について、民間活力導入した場合に地域との利害対立が起きないかと懸念している。地域と民間をどのように調和させるのが重要なポイントで、町民の利益にかなったリフレ事業の運営の在り方が求められている。
⇒昨年12月から2ヶ月間民間提案の募集を行い、2件の提案があり、対話が始まっている状況。対話の前には3区の区長と協議し、地域が求められることを含みながら募集要項を作成し提案を受けた。地域との対話については、与謝地域山村活性化推進協議会のリフレエリア活用分科会に対話の状況を報告し意見をいただきながら進めている。

グループ2「分野3 健康・福祉、分野4 子ども・子育て、分野5 教育・スポーツ・文化」

<意見・質疑応答>

- ・ 認知症伴走型支援事業が新規に盛り込まれているが、認知症は近い将来 5 人に 1 人が発症するだろうと言われているほど、大きな社会的問題だと捉えられている。対処療法的な施策と合わせて、予防医学の見地からの発症させない事業も必要だと思う。認知症を防ぐためには、食事、運動の他、人とのつながりが重要と言われている。最近、高齢者の関心が高いスポーツに囲碁ボールがあり、公民館での催しが増えていて、楽しみにされている高齢者も多い。こういった高齢者と地域を結びつける仕掛け、施策が必要だと思う。
 - ⇒お年寄りのスポーツの取組が熱心な地域だと認識していて、囲碁ボールも色々な地域で開催されている。予防的な意味合いの活動は引き続き支援させていただく。また、各地域で認知症カフェといったサロン活動をしており、その延長線上に一歩踏み込んだ相談ができる体制を整えている。
 - ⇒加悦地域公民館での囲碁ボール大会を見かけた際、皆さん笑顔で大きな声で楽しそうにされていて印象的であった。社会教育課では地域の地区公民館活動は、人づくり、人の繋がりづくりに貢献いただけると考えており重点的に支援させてもらっている。
 - ⇒ご指摘の点は、生活支援体制整備事業でコーディネーターを設置して高齢者参加による地域の支えあい体制づくりを進めていくので、ご相談がいただければ。
- ・ 学校給食センターの候補地の一つとして岩屋小学校があがっているが、メタセコイヤやヒマラヤ杉など立派な樹木があり大切にしてもらいたい。
 - ⇒給食センターの場所は岩屋小学校に確定しており設計も進んでいるが、本体工事について議会から精査するよう指示があり予算案は削除となった。また、指定までいかずとも地域にとって貴重なものをまちづくりに活かしていくことは、文化財保護行政の面からも重要で、守っていける方策をみなさんと一緒に考えていきたい。
- ・ 自分の地域ではドラッグストアが乱立して小売商店が無くなり、おしゃべりして買うことが無くなった。道の駅のように話をして買える、色んな世代が出会える場所が増えていけばと思う。

グループ 3「分野 6 環境・暮らし 分野 7 地域協働・行財政運営」

<意見・質疑応答>

- ・ 東京の娘にふるさと納税をしたことがあるかと尋ねたら、何年か前にホームページを見て返礼品が今一で止めたと言われた。今回、返礼品を充実されたようなので娘に進めたい。
 - ⇒昨年から、商品を増やす。魅力的な写真に置き換える。ネクタイも成人式前に PR するとか、検索に引っかかるような取組を進めている。

全体総括

<意見・質疑応答>

- ・ 近所の独居老人の方が 86 歳だが、月に一度福知山まで車で通院されている。そういった交通弱者の方の足の確保がお願いしたい。
- ・ 少子化で小学生の人数が減って空き教室があるように聞いている。空き教室を利用して学童をす

れば移動も無くなり、空き教室の活用になるのではないか。

- ・ ボランティアという名称だが強制的な動員になっているケースがある。やりたい人がやれるシステムができればと思っている。
- ・ 情報が届いてなくて、日々公式 LINE から情報を得て助かっている。
- ・ 人は明るい気分になると明るい発想が生まれて行動も変わってくる。皆さんの活力を与謝野町に還元する審議会になればと思う。
- ・ 対話と協働のまちづくり事業について説明にあったがすごく重要だと思っている。今までと同じ意識や行動では、これからの地域は成り立っていかないという危機感を皆さんお持ちかなと思う。
- ・ 行政の立場から計画・施策を説明してもらったが、これに対して市民、事業者がどのように連携、協力できるのか、行政が無くてもできることは沢山あるので、市民、事業者と一緒に取り組むのかが今後重要になってくる。

(2) その他

よさのみらい会議プロジェクト

- ・ 昨年第2回の総合計画審議会で「この指とまれ！よさのみらい cafe」を提案させていただいた。有志で何度か場をもって、その場の雰囲気でご意見を伺った中でまとめた内容。
- ・ 昨年できなかったが、来年、与謝野駅が100周年を迎えるので、地域住民主体の実行委員会が立ち上がっているのので、そこでお試しでできたらと考えている。
- ・ 毎回このテーマではなくて、次は公民館とか、認知症とか、いいアイデアがあれば提案いただきたい。
- ・ 第1回目は与謝野駅の実行委員会の方の話聞いた後、「この指とまれ井戸端会議」ということで、委員の方、参加者の方からテーマを出していただいて、集った人が関心を持てるテーマに絞って話し合いの場が持てればと考えている。
- ・ その場は、何かを起こすというより、顔を合わせて楽しく話す機会を作れたらと思っている。
- ・ 実行委員会のメンバーの濱田さんと話を進めさせてもらおう。

次回審議会について

- 日時：令和6年11月下旬予定
- 場所：岩滝保健センター
- 内容：R5年度の進捗管理、R7年度予算への展開、アンケート結果について他

4. 閉会（会長）あいさつ

（谷口会長）今年度2年目になります。1年目は策定と進捗管理、先ほど提案させていただいた「よさのみらい会議」を審議会のメンバーでやろうと声をかけたことができなかった。今年度は、町民が意識を進化させていく。そして協働に向けて審議会としても動いていきたいと思う。審議会は今年度あと1回だが、それ以外の場面で、ご一緒に取組を進めていけたらと思う。

以上を持ちまして総合計画審議会を閉会とさせていただきます。
本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございました。

閉会

以上